

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員を正社員化する。

めざせ、均等待遇なくその差別！

ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ！

西日本豪雨災害 に関して

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙・「みらい」
NO. 3871
18年7月13日(金)
・Fax 095-828-1953

おはようございます。
7月6日(金)から8日(日)にかけて降り続いた豪雨は、死者・安否不明者を合わせて、250名以上に上る未曾有の大災害となっています。被害に遭われた皆様、謹んでお見舞い申し上げます。

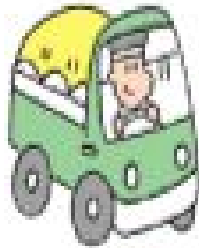
中国地本から、現状とこの間各地から寄せられた支援や激励に対してのお礼が届いたので掲載します。

【断水と物資不足が続く呉方面】

呉市は人口約23万人の中核市。この呉市から広島市を結ぶ国道・有料道路・鉄道が全て不通となった。また呉市は広島市から水道水の供給を受けているが、メインの送水管に土砂が流れ込んだため市内8割以上の地区で断水が続いている。

このため、コンビニ・スーパー等に食料や飲料水がほとんどなく、入ってきてもすぐに売り切れる状態。飲料水は給水車が派遣されているが、給水のために毎日数時間も並ばなければならない。皆考えることは同じで、広島市内でも飲料水のペットボトルやポリタンク品不足状態となっている。各地本から届いた支援物資を呉市に運ぼうにも、陸の孤島と化しているため、広島市内から呉市内まで数時間(通常は一時間弱)かけて搬送しているのが現状。

【郵便局】
全体的な郵便の流れが把握できない状況で、管理者も連日対応に追われている。
10日まで郵便が滞っていたが、11日より臨時便等の対応で拠点局の広島局に集中し処理を始める。滞留していた呉方面の郵便も11日早朝より搬送を始める。全国からの輸送便に遅延が続く



西日本豪雨災害に関する現状被害報告とお礼

この度の西日本豪雨災害により、亡くなられました方々のご冥福を心よりお祈りいたしますとともに、被害を受けられました地域の皆様にお見舞いを申し上げます。また一日も早い復興を心よりお祈りいたします。

さて、中国地本内における組合員の被害状況ですが、只今各支部に連絡を取りながら状況を把握中であります。今のところ、呉支部の組合員1名が豪雨の中での配達中に交通事故で救急搬送されています。それ以外は、被害の連絡は入っていません。

全国大会から1日遅れて広島に到着しましたが、想像以上に被害が広範囲で、すべての状況把握が出来ていません。

鉄橋が流されたり、土砂崩れによる家屋破壊、浸水被害、道路寸断等、交通網もあちらこちらで、遮断されている状況です。

支援物資の要請も受たまりましたが、高速道路の復旧に時間がかかりそうで、規制も含めて、困難な状況です。

郵便配達も出来ない地域や、郵便物、ゆうパックも届いていない状況で、職場も混乱しています。通勤さえ出来ない職員も多くいます。

復旧にはまだまだ時間がかかりそうです。

この間、沢山の組合員の皆様から、お見舞いの連絡と、励ましのお言葉を頂いたことに対して、中国地本を代表いたしまして、心からお礼を申し上げます。

本当に、ありがとうございます。またあらためて、支援要請を出来る状況になりましたらご協力お願い申し上げます。

現状報告まで

2018年 7月10日

郵政産業労働者ユニオン中国地方本部
執行委員長 三嶋 研二

【組合員の状況】
業務中の転倒事故1名(命に別状なし)、出勤困難者数名(基本特休対応)、床下浸水1名、支援等については、1



5日に地方大会を開催して該当支部からの報告と要請を待つて、必要とあらば改めて本部を通じて要請したい。以上が呉地区を中心とした現状報告です。
九州地本では中国地本から要請を受けて、各支

部と協力し、これまでに飲料水2のペットボトル220本と携行用の水タンク10個を送りました。
昨日、第一次の140本が届いたと連絡があつています。また支部ではカンパ行動にも取り組むことも決めています。



期間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-御手洗, 2集-向井, 3集-山田, 郵便-山口, ゆうちょ銀-上筋, 他支部・分会の役員へ。